

# 中部労災病院歯科研修プログラム

中部労災病院

# 研修プログラム概要

## 1. 研修プログラム名称

中部労災病院歯科研修プログラム

## 2. プログラムの特色

歯科口腔外科を中心とした1年間の研修

歯科医師に必要な基礎的知識、技術、態度の習得

専門的口腔外科疾患に対応できる基本的な知識を習得

医療従事者に求められる倫理観と責任感を身につける

病院歯科の特徴を生かし、他科との共同診療、地域診療所との連携医療を行う

## 3. 臨床研修の目標

すべての歯科医師に共通して求められる基礎的知識、技術、態度を習得するとともに、病院歯科の特徴を生かし、他科との連携、診療所又は病院を踏まえた診療態度を身につけることを目標とする。

## 4. 施設の概要と指導体制

### (1) 単独型臨床研修施設

- ①施設名 中部労災病院
- ②管理者 院長 丸井 伸行
- ③プログラム責任者 歯科口腔外科部長 鶴迫 伸一  
副プログラム責任者 歯科口腔外科部長 木下 一彦

### (2) 施設の概要

中部労災病院は、名古屋市南部に位置し、地域の中核病院として最新の医療設備と医療機器を備え、積極的に高度医療に取り組んでいる。

#### ①診療科目：28科

総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、心療内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

#### ②特殊診療部門：ICU、HCU、CCU

#### ③歯科医師数：常勤3名（内）指導歯科医師数：2名

#### ④ユニット・チェア数：6台

#### ⑤指導歯科医リスト：鶴迫伸一（1993年鹿児島大学歯学部卒） 日本口腔外科学会専門医 指導歯科医講習会終了 木下一彦（2002年広島大学歯学部卒） 日本口腔外科学会専門医 指導歯科医講習会終了

#### ⑥上級歯科医：小嶋一輝（2019年愛知学院大学歯学部卒）

## 5. プログラムの管理運営体制

### (1) 管理運営体制

臨床研修に関する全般の方針は、研修管理委員会において決定する。毎年度9月及び3月に研修管理委員長、プログラム責任者、研修管理委員により、中部労災病院歯科研修管理委員会（以下「研修管理委員会」という。）を開催し、研修の評価を行い、それに基づいて研修プログラムの協議、計画、修正を行う。また、相互評価システム（研修歯科医は教育指導内容に対する評価を行い、一方、指導歯科医も研修歯科医の研修態度を評価する。）の結果を研修システム改善の為にフィードバックさせる。

### (2) 研修期間

1年間（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

### (3) 指導体制

指導歯科医の指導・監督の下、指導歯科医の直接の指導を中心に外来・入院診療を行う。

### (4) プログラム研修概要

#### ① 期間割と研修歯科医配置予定

前期（4月～11月）と後期（12月～3月）に分け、原則的に歯科口腔外科において研修を行う。

#### ② 研修内容と研修目標

共通：すべての歯科医師に共通して求められる基礎的知識、技術、態度を習得するとともに、病院歯科の特徴を生かし、他科との連携、診療所または病院との連携を踏まえた診療態度を身につける。

前期：外来・病棟・手術見学により患者との接し方や診断に至るプロセスを理解する。その後、外来初診患者の問診・診査を中心に行い、指導歯科医の直接の指導により基本的手技、処置を習得するとともにその考え方を理解する。

後期：患者を受け持ち、指導歯科医と相談しながら問診、診査、診断、治療と一貫した外来診療を行う。また、入院患者を担当医とペアで受け持ち、全身管理を学ぶ。

#### ③ 研修歯科医の勤務時間

月曜日から金曜日まで 8時15分～17時00分

#### ④ 教育に関する行事

〔オリエンテーション〕：4月に1週間

〔症例検討会〕：歯科口腔外科において週に1回程度行う。

〔抄読会・勉強会等〕：歯科口腔外科において月に2回程度行う。

〔登録歯科医との勉強会〕：年 2回

〔その他〕：講演会、CPC、病院連携カンファレンス

### (5) プログラム修了の認定

1年間の研修修了時に、研修管理委員会は研修歯科医の研修到達度、各評価より総括的評価を行う。それを受けて院長は修了の認定を行い、院長より修了証を授与する。

## 6. 研修歯科医の評価

### (1) 自己評価

研修歯科医は前期、後期それぞれ終了直前にプログラムの「到達目標」に到達したか否かを4段階で自己評価して、研修歯科医評価表に記入し、プログラム責任者に提出す

る。

## (2) 相互評価

指導歯科医も研修歯科医の評価を研修歯科医評価表に記載して、速やかにプログラム責任者に提出する。プログラム責任者はこの相互評価の結果を研修管理委員会に提出し、研修システム改善の為にフィードバックさせる。

## (3) 多面評価

歯科口腔外科看護師、歯科衛生士は前期、後期の研修終了直前に研修歯科医の評価を評価表に記載し、プログラム責任者に提出する。

## 7. 研修歯科医の処遇

(1) 身分：嘱託就業規則で規定する常勤嘱託職員とする。

(2) 賃金：基本手当／月（350,000円） 賞与／無

(3) 休暇：有給休暇（12日付与）

産前産後休暇：各8週

夏季休暇：有り

その他の休暇：特別休暇・健康と福祉の事業創設記念日など

(4) 休日：土曜、日曜、祝祭日、年末年始

(5) 時間外勤務：所属長が必要と認めた場合のみ時間外勤務あり（時間外勤務手当支給）

(6) 当直：なし

(7) 住居：あり

(8) 研修歯科医室：あり

(9) 社会保険：公的医療保険（健康保険組合） 公的年金保険（厚生年金）

労働者災害補償保険法の適用：有り 雇用保険：有り

(10) 健康管理：雇い入れ健診

予防接種：採用時ワクチンプログラム実施

（麻疹・風疹・おたふく・水痘・B型肝炎）

メンタルヘルスケア

(11) 歯科医師賠償責任保険

：病院において加入：有り（労働者健康安全機構として加入）

個人加入：任意

(12) 学会・研究会の参加：可（承認分は、旅費支給有）

## 8. 研修歯科医の採用

### (1) 採用

採用に当たっては、マッチングを利用し広く公募を行う。研修歯科医の選考は研修管理委員会が行い、院長の決裁によってこれを決定する。

### (2) 募集定員

1名

### (3) 応募資格

令和7年度施行歯科医師国家試験受験者

### (4) 応募及び資料請求先

〒455-8530 愛知県名古屋市港区港明一丁目10番6号

中部労災病院 臨床研修センター

- (5) 必要書類  
当院指定履歴書、卒業見込証明書
- (6) 出願方法  
提出書類を応募先まで送付する
- (7) 選考方法  
面接及び適正試験による選考

## 研修プログラム 本編

### I. 研修目標

1. 歯科医師に求められる基本的臨床能力を身につける。
  - (1) 歯科医師として必要な初期治療（疼痛の除去など）が的確にできる。
  - (2) 適切な治療計画をたて、患者への十分な説明ができる。
  - (3) 予後を見通した処置ができる。
  - (4) 自ら能力の限界を知り、より向上するよう努める。
  - (5) 上級歯科医師または他科医師に委ねるべきかどうか、的確に判断できる。
2. 歯科における病院歯科の機能を理解し、その診療態度を身につける。
  - (1) 常に全身の一部として口腔を診ることができる。
  - (2) 他診療科の診療内容を理解し、連携を密にした歯科診療を身につける。
  - (3) 歯科入院患者の診療内容を理解し、退院サマリーの限られたスペース内に要領よくまとめることができる。
  - (4) 病院と診療所、及び病院間の連携を密にし、紹介医への報告を適切に行う習慣を身につける。
3. 診療内容を正しく表現し、明瞭に記録する習慣を身につける。
4. 歯科医療も医療の一部であり、患者を身体的、心理的、社会的の面を併せて全人的にとらえ、患者、家族との正しい人間関係を確立する態度を見につける。
5. パラメディカル及びパラデンタルスタッフと協調して歯科医療にあたる態度を身につける。
6. 自己評価をし、又評価を受け、それを研修の改善に役立てる態度を身につける。

### II. 方略

1. 研修歯科医は、1年間の研修期間を通じて指導歯科医とペアとなり、歯科口腔外科において日常診療をともにする。
2. 前期は到達目標の達成のため、外来・病棟・手術見学を中心に行う。その後、外来初診患者の間診・診査を中心に行い、指導歯科医の指導により基本的手技、処置を習得

するとともにその考え方を理解する。

3. 後期は到達目標の達成のため、指導歯科医の管理・監督のもと、患者を受け持ち、一貫した診療を行う。
4. 到達目標の達成のために必要に応じ、医療安全や感染対策などに対する研修会の参加や、入職時のオリエンテーション及び随時の指導歯科医の講義を行う。

### Ⅲ. 到達目標

#### A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

##### 1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

##### 2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

##### 3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

##### 4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

#### B. 資質・能力

##### 1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

##### 2. 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。

- ③ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④ 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- ⑤ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

### 3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ① 頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- ② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- ④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

### 4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- ① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- ③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

### 5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- ① 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

### 6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- ① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- ② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

### 7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- ① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- ③ 予防医療・保健・健康増進に努める。
- ④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

## 8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。
- ② 科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解する。

## 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。

## C. 基本的診療業務

### 1. 基本的診療能力等

#### (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画

到達目標	研修内容	研修内容（具体部分	必要な症例数（参加数） ※20 症例
①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	患者との接し方や疾患に対する診断、治療に至る過程を理解し、問診、診査、診断が適切に行えるようにする。また、指導歯科医師の指導により、基本的な手技を習得し、臨床応用ができるようにする。	初診時の医療面接並びに、再診時の医療面接を実施する。	20 症例 (①～⑥までを一連で実施)
②全身状態を考慮した上で顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。		口腔内診察、頭頸部診察を実施し、必要な各種臨床検査を実施し、解釈する。	
③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。		エックス線検査、咬合検査、歯周組織検査、歯髄電気診、口腔機能低下症の検査を実施し、解釈する。	
④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。		担当患者の診断に関する口頭試問、カンファレンスに参加する。	
⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。		治療計画に関するカンファレンスへの参加、プロトコールの作成を行う。	
⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決		患者に対する病状説明、インフォームド・コンセントを実践する。	

定を確認する。			
---------	--	--	--

## (2) 基本的臨床技能等

到達目標	研修内容	必要な症例数 (参加数) ※10 症例
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	周術期等口腔機能管理の依頼のに基づき、口腔管理の介入が必要な患者に対して、歯石除去、ルートプレーニング、予防充填等を実施し、口腔衛生指導を実施する。	10 症例

到達目標	研修内容	必要な症例数 (参加数) ※55 症例
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	入院中の患者の依頼に対して、指導歯科医とともに担当医として以下の治療を行う。 a. コンポジットレジン修復、インレー修復 b. 根管治療 (抜髄処置、感染根管処置) c. 口腔衛生指導、スケーリング、ルートプレーニング d. 抜歯術 (単純抜歯、難抜歯、埋伏抜歯) 等の小手術 e. 義歯 (部分床義歯、全部床義歯) f. 口腔機能管理、高齢化による機能低下	各 3 症例 但し d. は 10 症例
③ 基本的な応急処置を実践する。	a. 急性炎症に対する診査、薬物療法について実践する。 b. 歯、口腔顎顔面領域の外傷に対する基本的な治療を実践する。修復物、補綴装置の脱離、不適合に対する適切な処置を実践する。	10 症例
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	血圧、脈拍数、経皮的動脈血酸素飽和度測定の実施	10 症例
⑤ 診療に関する記録や文書 (診療録、処方せん、歯科技工指示書等) を作成する。	指導歯科医の指導のもと書類作成を行う。	10 症例
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。	院内で開催される研修を受講する。	1 以上

## (3) 患者管理

到達目標	研修内容	必要な症例数 (参加数) ※20 症例
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。	患者の訴え、現病歴、既往歴などを把握し、要領よくかつ正確にカルテ記載できる。	10 症例
② 患者の医療情報等について、必	患者の医療情報等について、必要に応じて	5 症例

要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。	主治の医師等と診療情報を共有できる。	
③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。	高血圧症や心疾患、脳血管障害、喘息、糖尿病等の基礎疾患をもつ患者に対する歯科治療や静脈鎮静麻酔下における手術に対して全身状態のモニタリングを行う。	5 症例
④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。	関連研修会を受講する。	1 以上
	アクシデント含めインシデントレポートが発生した場合、レポートを提出する。	5 以上
到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数） ※10 症例
⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。	入院患者に対して指導歯科医の指導のもと担当医として術前・術後の管理を担当する。	10 症例

#### （４）患者の状態に応じた歯科医療の提供

到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数） ※10 症例
①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。	う蝕、歯周病予防について生涯を通じた口腔の健康及び口腔機能の維持、向上の重要性について患者に説明を行う。	10 症例

到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数） ※8 症例
②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。	小児、成人、高齢者それぞれの治療を行う。	5 症例
③障害を有する患者への対応を実践する。	指導歯科医の指導のもと、障害を有する患者に対して、他科との連携により全身状態を把握し、安全な歯科治療を行う。	3 症例

## ２．歯科医療に関する連携と制度の理解等

### （１）歯科専門職間の連携

到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数） ※18 症例
①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。	口腔ケアを必要な患者に対して、口腔ケアを実施するとともに歯科衛生士に対して、指導内容について適切に指示する。	10 症例
②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。	歯科技工指示書を作成する。	3 症例
③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。	I C T活動に参加して多職種連携を実施する。	5 症例

## (2) 多職種連携、地域医療

到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数） ※5 症例
①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。	関連研修会へ参加する。	1 以上
②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。		1 以上
③がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。	がん患者及び緩和ケアの対象となる患者の周術期口腔機能管理を行う。	5 症例

到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数） ※5 症例
④歯科専門職が関与する多職種チームについて、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。	N S T 活動に参加して多職種連携を実施する。	5 症例

## (3) 地域保健

到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数）
①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。	関連資料や研修会に参加し、レポートを提出する。	1 以上
②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。		1 以上

## (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解

到達目標	研修内容	必要な症例数（参加数）
① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	関連の文献を検索し、レポートを提出する。 毎月のレセプト点検に参加する。	1 以上
② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。		1 以上
③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。		1 以上

## IV. 到達目標の達成に必要な症例数

〈到達目標達成に必要な症例数〉 1 6 1 症例

〈経験することを目標とする症例数〉 2 0 0 症例

〈症例数の数え方〉 患者に対し実施した処置単位を 1 症例と数える。

## V. 修了判定を行う項目と基準

〈前提〉

目標達成の基準として、到達目標達成に必要な症例数を経験していることが必要。

〈修了判定を行う項目〉

「研修歯科医評価表Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「レポートの提出」、「研修会への参加」

〈修了判定基準〉

研修修了時点で、下記の要件すべてを満たしていること。

- A. 研修期間を通じた研修休止期間が45日以内であること  
なお、研修休止の理由は、妊娠・出産・育児・傷病・キャリア形成などの正当なものであること
- B. 研修歯科医評価表Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを用いた研修歯科医による自己評価及び指導歯科医による指導歯科医評価において、「歯科医師としての基本的価値観」、「資質・能力」、「基本的診療業務」の評価が平均2.5点以上であること
- C. 到達目標達成のために必要な研修会に参加し、かつ、必須のレポートを提出していること。

〈修了の判定〉

研修修了時点で上記の要件をすべて満たしている場合に、研修管理委員会において研修期間における研修実績や多面評価結果などを総合的に判断し、到達目標に達していると判断した場合に研修修了とする。

中部労災病院 研修歯科医評価表 I

「A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_ 区分 研修歯科医評価  指導歯科医評価   
 研修診療科 \_\_\_\_\_  
 指導歯科医名 \_\_\_\_\_ 記載日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日  
 評価期間 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

中部労災病院 研修歯科医評価表 II

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_ 区分 研修歯科医評価  指導歯科医評価   
 指導歯科医名 \_\_\_\_\_ 記載日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日  
 研修診療科 \_\_\_\_\_  
 評価期間 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	<input type="checkbox"/>				
② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	<input type="checkbox"/>				
③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	<input type="checkbox"/>				
④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	<input type="checkbox"/>				
⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	<input type="checkbox"/>				

2. 歯科医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	<input type="checkbox"/>				
② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	<input type="checkbox"/>				
③ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。	<input type="checkbox"/>				
④ 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。	<input type="checkbox"/>				
⑤ 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。	<input type="checkbox"/>				

### 3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察機会なし
	期待を大きく下回る	期待を下回る	期待通り	期待を大きく上回る	
① 頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。	<input type="checkbox"/>				
② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。	<input type="checkbox"/>				
③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	<input type="checkbox"/>				
④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。	<input type="checkbox"/>				

### 4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察機会なし
	期待を大きく下回る	期待を下回る	期待通り	期待を大きく上回る	
① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	<input type="checkbox"/>				
② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。	<input type="checkbox"/>				
③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。	<input type="checkbox"/>				
④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	<input type="checkbox"/>				

### 5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察機会なし
	期待を大きく下回る	期待を下回る	期待通り	期待を大きく上回る	
① 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。	<input type="checkbox"/>				
② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。	<input type="checkbox"/>				
③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	<input type="checkbox"/>				

## 6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。	<input type="checkbox"/>				
② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。	<input type="checkbox"/>				
③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。	<input type="checkbox"/>				

## 7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	<input type="checkbox"/>				
② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。	<input type="checkbox"/>				
③ 予防医療・保健・健康増進に努める。	<input type="checkbox"/>				
④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	<input type="checkbox"/>				
⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。	<input type="checkbox"/>				

## 8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。	<input type="checkbox"/>				
② 科学的研究方法を理解し、活用する。	<input type="checkbox"/>				
③ 臨床研究や治験の意義を理解する。	<input type="checkbox"/>				

### 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

	レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	<input type="checkbox"/>				
② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。	<input type="checkbox"/>				
③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。	<input type="checkbox"/>				

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

中部労災病院 研修歯科医評価表 Ⅲ

「C. 基本的診療業務」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_ 区分 研修歯科医評価  指導歯科医評価   
 指導歯科医名 \_\_\_\_\_ 記載日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日  
 研修診療科 \_\_\_\_\_  
 評価期間 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

1. 基本的診療能力等

(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	<input type="checkbox"/>				
② 全身状態を考慮した上で顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。	<input type="checkbox"/>				
③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。	<input type="checkbox"/>				
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。	<input type="checkbox"/>				
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。	<input type="checkbox"/>				
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。	<input type="checkbox"/>				

(2) 基本的臨床技能等

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	<input type="checkbox"/>				
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。	<input type="checkbox"/>				
③ 基本的な応急処置を実践する。	<input type="checkbox"/>				
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	<input type="checkbox"/>				
⑤ 診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。	<input type="checkbox"/>				
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。	<input type="checkbox"/>				

### (3) 患者管理

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。	<input type="checkbox"/>				
②患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。	<input type="checkbox"/>				
③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。	<input type="checkbox"/>				
④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。	<input type="checkbox"/>				
⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。	<input type="checkbox"/>				

### (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。	<input type="checkbox"/>				
②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。	<input type="checkbox"/>				
③障害を有する患者への対応を実践する。	<input type="checkbox"/>				

## 2. 歯科医療に関する連携と制度の理解等

### (1) 歯科専門職の連携

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。	<input type="checkbox"/>				
②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。	<input type="checkbox"/>				
③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。	<input type="checkbox"/>				

(2) 多職種連携、地域医療

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。	<input type="checkbox"/>				
②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。	<input type="checkbox"/>				
③がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。	<input type="checkbox"/>				
④歯科専門職が関与する多職種チームについて、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。	<input type="checkbox"/>				

(3) 地域保健

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。	<input type="checkbox"/>				
②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。	<input type="checkbox"/>				

(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	<input type="checkbox"/>				
② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。	<input type="checkbox"/>				
③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	<input type="checkbox"/>				

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。